

予 算 要 求 資 料

令和 4 年度 9 月 補正 予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：主要農作物対策費

事業名 【新】 戦略的県産米販売支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 米麦大豆係 電話番号：058-272-1111(内2862)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 4,408 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|------------|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 現 計 予算額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 補 正 要求額 | 4,408 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,408 |
| 決定額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の影響により、主食用米の需要は低迷。新たな用途開拓による米の需要拡大では、ウクライナ情勢等による小麦の価格高騰もあり、食品加工事業者から米粉への期待が高まっていることから、県産米の米粉を使用した新商品販売につなげるために、新商品開発やテストマーケティング調査を目的に、食品加工事業者等に、県産米の米粉代を支援する。

(2) 事業内容

高騰する小麦の代替として、県産米の米粉の活用を希望する加工事業者に、米粉を提供して、米粉商品の開発を支援。

- ・初回 新商品のトライアル開発のための米粉代を、定額補助
- ・2回目 テストマーケティングのための米粉代を、1/2 以内で補助

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10、1/2以内

(4) 類似事業の有無

有 農林水産省 輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|------------------------------|
| 補助金 | 4,408 | 加工事業者に、県産米の米粉を提供し、米粉商品の開発を支援 |
| 合計 | 4,408 | |

決定額の考え方

国事業を活用すべきものであるため、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

1 (2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり

③水田農業における安定供給体制の構築と新たな展開

(2) 国・他県の状況

農林水産省は、輸入小麦を国産米粉に置き換えて、新商品を開発製造し、販売を行う食品加工事業者を対象に、輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業を措置。米粉原料の1/2以内で助成。

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：食品加工事業者、卸業者

卸業者を通じて、食品加工事業者のニーズの把握が容易にでき、効率的な支援が可能となる。また、卸業者と繋がりのない食品加工事業者も支援対象とすることで、ニーズのある事業者を漏れなく支援できる。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

| | |
|-----------|--|
| 補助事業名 | 戦略的県産米販売支援事業費補助金 |
| 補助事業者(団体) | 県内事業者(食品加工事業者、卸業者) (理由) 卸業者を通じて、加工事業者のニーズの把握が可能である。また、卸業者と繋がりのない加工事業者も支援対象とすることで、ニーズのある事業者を漏れなく支援できる。 |
| 補助事業の概要 | (目的) 新型コロナウイルス感染症の影響により、主食用米の需要は低迷。新たな米の販路開拓が必要。 (内容) 高騰する小麦の代替を希望する食品加工事業者等に、米粉を提供し、米粉商品の開発を支援。 |
| 補助率・補助単価等 | 定額・定率・その他(例:人件費相当額) (内容) 補助率10/10、1/2以内 (理由) 事業実施主体の負担を極力減らしたうえで、県産米の米粉の使用を促すものであることから、予算の範囲内で新商品開発やマーケティング販売に要する経費の負担が妥当。 |
| 補助効果 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、主食用米の需要は低迷。食品加工事業者等に、新商品開発やテストマーケティング調査を目的に米粉代を支援することで、県産米の米粉を使用した新商品発売に誘導し、県産米の消費拡大につなげることができる。 |
| 終期の設定 | 終期 令和4年度 (理由) 新型コロナウイルス感染症の影響による支援のため |

(事業目標)

| |
|---|
| <p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、主食用米の需要は低迷。新たな用途開拓による米の需要拡大を目的に、食品加工事業者等に、新商品開発やテストマーケティング調査を目的に米粉代を支援することで、県産米の米粉を使用した新商品発売に誘導する。</p> |
|---|

(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業開始前(R) | R2年度実績 | R3年度目標 | R4年度目標 | 終期目標(R4) | |
|---------------------|----------|--------|--------|--------|----------|--|
| | | | | | 達成率 | |
| ①新商品開発取組み事業者の米粉使用数量 | | | | 13.3t | 13.3t | |

| | | | |
|----------------|-------|------|------|
| 補助金交付実績(単位:千円) | H30年度 | R元年度 | R2年度 |
| | 0 | 0 | 0 |

(これまでの取組内容と成果)

| | |
|-------|---|
| 令和2年度 | ・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |
| 令和3年度 | 令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |
| 令和4年度 | 令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない | |
| (評価) | |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) | |
| (評価) | |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|--|
| ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の影響から、主食用米の需要が低迷しており、新たな用途開拓のため、卸業者等を通じて米粉原材料費を支援し、加工事業者が商品開発を進め、将来の商品化を促すことで、米の消費拡大に繋げていく。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の影響による事業のため単年で終了 |
|--|